

第四回安渡地区まちづくり懇談会 議事要旨

- 平成 25 年 5 月 18 日（土）14:00～16:10
- 於旧安渡小学校体育館
- 出席者数 168人

質疑応答

Q1

復興事業の予算が、県や町で多額に繰越されているようです。今年度末までに使わなければ、返還しなければならないといいますが、早く予算を使える仕組みづくりが必要ではありませんか？

A1：町

予算は通常、年ごとに計上しますが、復興予算については、24 年度予算に 25 年度予算を組み込んでいます。このため、大きな繰越となっていますが、予算をいつでも使えますし、事業もすぐに行えるようになっています。

Q2

地権者と交渉する職員が、9 人だけという報道がありましたが、この人手不足をどのように解決しようと考えていますか？

A2 町

用地買収については、努力しているにも関わらず、遅れていることは、町も理解しています。民間企業に発注したり、応援職員の増員もお願いしています。

Q3

吉里吉里の災害公営住宅には、35%ほどしか入居希望者がいないということですが、どのように対応するのですか？（平成 25 年 5 月 18 日時点）

A3 町

吉里吉里の公営住宅の希望状況は、現在 35%（5 月 18 日時点）ですが、災害公営住宅、最初の募集ということもあり、町民の皆様も迷われているとも考えられます。今後は、内覧会を行ったり、引き続き広報で募集をかけていきます。

Q4

安渡地区には、高齢者が大勢おられますので、高台団地へ登る坂道が問題になるのではないのでしょうか？防集団地や小学校へ上がる坂道は、老人に優しく、また、自動車がない人でも生活できるような、緩やかなものにしてほしい。

A4 町

古学校団地予定地、安渡小学校への道も、かなりの急勾配となりますが、今よりは緩やかにするよう検討しておりまして、計画が決まれば、模型等でお示ししたいと思います。

Q5

大ケロ付近の災害公営住宅では、盛土をしているところと、そうでないところがある。これでは、安全面を考え、申し込みを躊躇する人もいるのではありませんか？それから、災害公営住宅の抽選では、一度抽選から外れた場合、引き続き違う団地の抽選に応募できますか？

A5 町

大ケロは浸水したため、今回1mほど盛土をしましたが、屋敷前は、道路が狭く盛土ができません。防潮堤の完成まで時間がかかるので、盛土をしないところの住宅は、一階部分を駐車場として、2階より上に住んでいただく構造にしています。それから、入居の抽選から外れた方でも、次の住宅へ申し込めるようになっています。

Q6

今日の説明では、人口動態（人口の動き）の説明がありませんでしたが、今後、住宅ができて、住民がいなければ、町がガラガラになってしまいます。安渡小学校もなくなってしまいますし、子供が将来も残り、安心して暮らせる町づくりをお願いします。

A6 町

大槌町では、人口が減る傾向にありますが、今年度、復興計画を作り直す中で、住宅再建だけでなく、働く場所、子育て、介護などについても検討し、「こんな町になります、皆さん住んでください。」とアピールできるものになりたいと考えます。

Q7

資料を見ると、災害公営住宅希望者が105人となっていますが、何処に建設する予定ですか？

A7 町

災害公営住宅予定地は、区画整理地域の南側（旧県道北側）と大徳院付近、それから、吉里吉里トンネル付近（現在の大槌第11仮設団地付近）となっております。

Q8

災害危険区域内の土地の買い取りが、あまり進んでいない。早く買い取ってお金を渡した方が、住宅再建が早く進み、生活も安定するのではないか？

A8 町

買い取りが進んでいないことについては、対策を検討中です。諸事情で、早く買取して欲しい方については、役場まで個別に相談にきてほしい。

Q9

安渡の区画整理区域の盛土は、1.5m 程度と聞いているが、1m 沈下した状態で差し引きすれば、ほとんど前と変わらないのではないか？もっと盛土して安全にしてほしい。それによって、安渡小学校へ登る坂道も緩やかになると思います。

A9 町

盛土については、おおむね 2m を計画しています。防潮堤を作る位置も決まりましたし、低地部の盛土と造成は、道路縦断勾配（防潮堤道路の角度）などと、津波浸水シミュレーションも行いながら、検討していきます。

Q10

赤浜地区では、8m の盛土というのは本当ですか？

A10 町

赤浜では、14.5m の防潮堤ではなく、6.5m とするため、盛土を高くする必要があります。盛土高は、最大 11m で計画しておりますが、安全性に差はありません。

Q11

防潮堤建設予定地では、1月から用地買収開始と説明がありましたが、早く買い取りをしてほしい。それから、買収が完了するまで、どれくらいかかりますか？遅れた場合の対策は考えていますか？

A11 岩手県沿岸広域振興局

用地買収は、1月から始める予定ですが、もっと早くできないか検討中です。買収は、防集の移転促進区域の買い取りと足並みを揃えていきたいが、どうしても早く買ってほしい方は、個別に相談に乗りたいと思います。

Q12

移転促進区域も防潮堤部分も、買い取り金額は同じですか？

A12 町

町で算出している買取価格は、県に情報提供するので、同じ金額です。

Q13

区画整理についても、テンポが遅く感じる。実行できますか？

A13 町

起工承諾書を返送していただき、早く工事に着手したいと考えております。未提出の方は、早目の提出をお願いいたします。

※起工承諾書：今年3月に発送した、仮換地決定前に工事を始めて良いという承諾書

Q14

大船渡市では、自立再建者に対して総額約1400万の支援金が出ると新聞にあった。大槌町でも、独自支援を含めて450万ほどにはなるが、今後の支援策を、どのように考えているのでしょうか？

A14 町

大船渡市の1400万円の支援という数字は、利子補給を最大限まで使うなど（防災集団移転等で最大444万円）、4000万円規模のローンを組んだ場合の例です。

大槌町の独自支援150万円は、沿岸被災地では最高額ですし、現在は、区画整理対象者や、整備が入らない地区で再建する方への支援も検討しています。

Q15

安渡保育所は寺野地区に移動したが、将来的には安渡に戻してほしい。町だけで決めずに、住民と話し合い、将来の町づくりを検討してほしい。

A15 町

今年度、保育所の再編計画を検討していく予定です。皆さんの意見も聞きたいので、ご協力をお願いいたします。

Q16

防潮堤はいつ完成しますか？用地買収後のスケジュールを教えてください。

A16 岩手県沿岸広域振興局

防潮堤建設費の総工費は20億円以上となっており、来年早々に工事を始め、3年で完成する予定です。そして、大槌川水門の工事とのバランスも考慮し進めていく予定です。